

「話し合い活動」を中心とした身近な消費生活と環境の学習 ～持続可能な社会をめざして主体的に生きる消費者をはぐくむ視点から～

井 上 富 美 子

1. はじめに

平成20年1月の中央教育審議会の答申において、教育課程の基準の改善のねらいが示されるとともに、各教科等別の主な改善事項が示されている。これらを踏まえ、今回の学習指導要領の改訂において、家庭科、技術・家庭科では、これからの生活を見通し、よりよい生活を創造するとともに、主体的に対応する観点から改善が図られた。中学校技術・家庭科家庭分野においては、衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動、問題解決的な学習を通して、中学生としての自己の生活の自立を図り、子育てや心の安らぎなどの家庭の機能を理解するとともに、これからの生活を展望し、課題をもって主体的によりよい生活を工夫できる能力と態度の育成を重視することとし、改善が図られた。その中で、人とよりよくかかわる能力の育成をめざした学習活動を一層重視する、幼児触れ合い体験などの学習活動を更に重視すると示されている。また、思考力・判断力・表現力等をはぐくむために、学習活動の基盤となる言語に関する能力の育成のために、国語科における基礎的な力の定着と、各教科において記録、要約、説明、論述といった学習活動を取り組む必要があるとされている。

本学校園では平成18年度から幼小中一貫教育の研究に取り組んでおり、研究主題「豊かな社会生活を創造する幼小中一貫教育の追求－豊かな学びをつくる子どもの育成」のもとに、教科学習で一貫して育てていきたい思考力・判断力・表現力を明確にし、それらを育てる上で有効な生徒同士の学び合いについて研究を行ってきた。技術・家庭科においても研究テーマを「確かな知識・技術を活かし、生活を工夫し豊かにすることができる技術・家庭科学習－学び合いの中から思考力・判断力・表現力を育てる授業のあり方－」として授業研究をおこなっている。

2. 研究のねらい

本研究では、身近な衣生活の内容と消費生活・環境の内容を合わせて題材を構成し、学習の中に「話し合い活動」を取り入れて、私たちの消費行動が環境に与える影響について考えさせることにより、環境に配慮した消費生活が持続可能な社会を形成する基盤となることに気付かせることをねらいとした。

持続可能な社会の構築に向けた教育（Education for Sustainable Development 以下ESD）は、環境保全と南北格差の是正（社会的公正）から成るが、これまでのESDでは、環境保全に着目した授業実践が大半で、社会的公正に着目した授業実践は少ない。本研究では社会的公正に注目し、そのための手立てとしてフェア・トレードを教材とした授業開発を行った。フェア・トレードとは「公正な貿易」と訳されるが、貧困削減の方法として、商品の価格に、途上国の貧しい人々の基本的な生活やよりよい労働環境を保障するための支援金が上乗せされている。フェア・トレード商品を購入することにより、南北格差の是正に繋がるとともに、安価な商品の背景にある労働の搾取や消費に伴った環境への負荷を考えていくことができる。先行研究では、食領域でチョコレートや児童労働を取り上げた実践がある。本研究では、衣生活と関連づけてフェア・トレードの帽子を取り上げて授業実践を行った。

3. 授業づくりの視点

本題材は、中学校2年生の家庭分野において、学習指導要領の内容C「衣生活・住生活と自立」の(1)「衣服の選択と手入れ」、(3)「衣生活、住生活などの生活の工夫」と、内容D「身近な消費生活と環境」の(1)「家庭生活と消費」、(2)「家庭生活と環境」を、組合わせて構成している。それぞれの内容が生徒の実際の生活により近くなるように、制服や日常着を教材として取り上げて、補修や洗濯の実習

を行ったり、衣服の着方や購入を考えたりすることにより、学習の成果を積極的に生活に生かすことができるように指導計画を立てた。(図1)

図1 中学校2年生技術・家庭科(家庭分野) 題材指導計画「衣生活・消費生活」(20時間)

時間	題材	学習活動(◎学習課題)	評価の観点(評価方法)	関心	工夫	技能	知識	学習指導要領
1	衣服と社会生活とのかわり	◇なぜ制服を着るのだろう。 ◎衣服の社会生活上の機能を知り、時場所・場合(TPO)に応じた着用を考えよう。	・衣服と社会生活とのかかわりに関心がもてたか。 ・衣服の社会生活上の機能が理解できたか。	○				C(1)ア
2	日常着の計画的な活用	◇どんな衣服があるだろうか。 ・衣服の種類 ・手持ちの衣服の組合せ ◎個性を生かす着方を工夫しよう ・TPOに応じた衣服 ・色、形の効果 ・色や柄を考え合わせた組み合わせ	・日常着の計画的な活用に関心がもてたか。 ・日常着の目的に応じた着用の工夫や計画的な活用考えることができたか。 ・色や形などの調和を考えて自分らしさを表現する着方の工夫ができたか。 (観察、プリント)	○		○		C(1)イ C(1)ア、イ
4 5	衣服の手入れ(取り扱い表示)	◇制服の点検をしよう。 (汚れ、ほころび等) ◎衣服材料に応じた日常着の手入れと補修を知ろう。 ・衣服材料 ・組成表示、取り扱い絵表示 ・クリーニング	・衣服の材料や組成表示等を知りし、手入れの仕方が理解できたか。 (プリント、観察)				○	C(1)ウ
6 7	衣服の手入れ(洗濯)	◇制服の洗濯をしよう。 ◎洗剤の働き、衣服材料に応じた洗剤の種類、使用量を知ろう。 ◇電気洗濯機を用いた洗濯の方法と特徴を調べよう。 ・電気洗濯機の使い方 ・衣服に応じた洗濯方法 ◎電気洗濯機による洗濯計画を立てよう。 ・洗濯計画 ・家庭で実践しよう。	・洗剤の働き、衣服材料に応じた洗剤の種類、使用量を理解できたか。 ・取り扱い絵表示等を読みとり、衣服に応じた洗濯計画を立てられたか。 ・環境に配慮した洗濯の仕方が考えられたか。 (プリント) ・家庭で実践することができたか。 (レポート)			○		C(1)ウ D(2)ア
8 15	衣服の手入れ(補修)	◇制服の手入れをしよう ◎取り扱い絵表示を読みとり、制服のアイロンかけをしよう。 ◇制服の点検・補修をしよう。 ◎補修の目的と布地に適した方法を選び、補修しよう。 ・制服のボタン付け ◇基礎縫いでランチマットを作ろう ・まつり縫い、ミシン縫い、ボタン付け、スナップ付け等を取り入れたランチマット作り	・衣服材料にあったアイロンかけをすることができたか。(観察) ・補修の目的と布地に適した補修方法がわかり、補修ができたか。(実習) ・補修に関心をもち、意欲的に作業できたか。(観察) ・用具等の安全な取り扱いができたか。(観察)				○	C(1)ウ C(3)ア
16 17 (本時)	商品の選択と購入(情報の収集、選択)	◇必要な衣服を購入しよう。 ◎購入の目的に合わせて情報の収集、商品の選択をしよう。(グループ活動) ・衣服との組合せやデザイン ・手入れのしやすさ ・縫製の良否 ・品質、価格、生産地等	・商品の購入のための情報を収集・整理することができたか。 ・情報を活用して商品を選択することに意欲的に取り組んだか。 (観察・プリント)				○	D(1)イ D(2)ア
18 19	販売方法と消費者の権利と責任(販売方法・消費者保護)	・購入方法を知ろう。 ◎販売方法の特徴を知ろう。 ・販売方法の種類 ・販売方法の利点・問題点 ・支払方法 ◎通信販売のトラブルを防ぐにはどうしたらよいか。 ・通信販売の利用の留意点 ・消費者の権利と消費者保護基本法	・販売方法の特徴や利点・問題点に関心がもてたか。(観察) ・販売方法の利点と問題点を理解できたか。 ・消費者の権利と消費者保護基本法の趣旨を理解している。 (観察、プリント)	○				D(1)ア、イ
20	資源や環境に配慮した消費生活の工夫	◎自分の生活を振り返り、資源や環境に配慮した消費生活を工夫しよう。 ・これまでの学習をもとに自分の生活を振り返る。 ・資源や環境に配慮した消費生活を考えて生活用品の活用をグループで話し合う。(ディベート)	・自分の生活と環境とのかかわりに関心がもてたか。 ・資源や環境に配慮した消費生活を自分なりに工夫できたか。 (プリント) ・環境に配慮した物資の活用が工夫できたか。 (観察、プリント)	○				D(2)ア

生徒はこれまで小学校5年生から中学校1年生の他の題材においても、「環境」の視点から食品の選択・購入や食品のフードマイレージの学習、生ゴミのリサイクルや環境に配慮した調理実習などを行ってきている。本題材でも、衣服の洗濯の学習で、洗剤の種類や使用量、衣服に応じた洗濯方法などで環境に配慮した手入れの仕方を工夫し、自分の制服や家族の衣服の洗濯を行った。

本時の学習は、これまで学んだことをもとにして、「商品の選択と購入」を考える学習である。様々な視点から商品の購入を考えることで、購入のための情報の収集・整理し、必要性を考えて商品の適切な購入ができるようにするとともに、自分たちの消費行動が他の地域の人々の生活や自然環境に与える影響を考えさせることをねらいとしている。教材として男女ともに着用することができ、ファッション性もあり、実際に自分たちが購入する機会がある帽子を取り上げ、素材、デザイン、価格、生産地、購入先などが異なる条件の商品(①～④)を見せて、どの商品を購入するかを考えさせた。これまでの学習がいかせるように、素材に天然繊維の羊毛や化学繊維のアクリルを取り上げ、タグの品質表示や取り扱い絵表示などからさまざまな情報が得られるようにした(表1)。また、実際に帽子をさわらせたり、かぶらせたりして、実際に購入するときと同じような場を設定した。

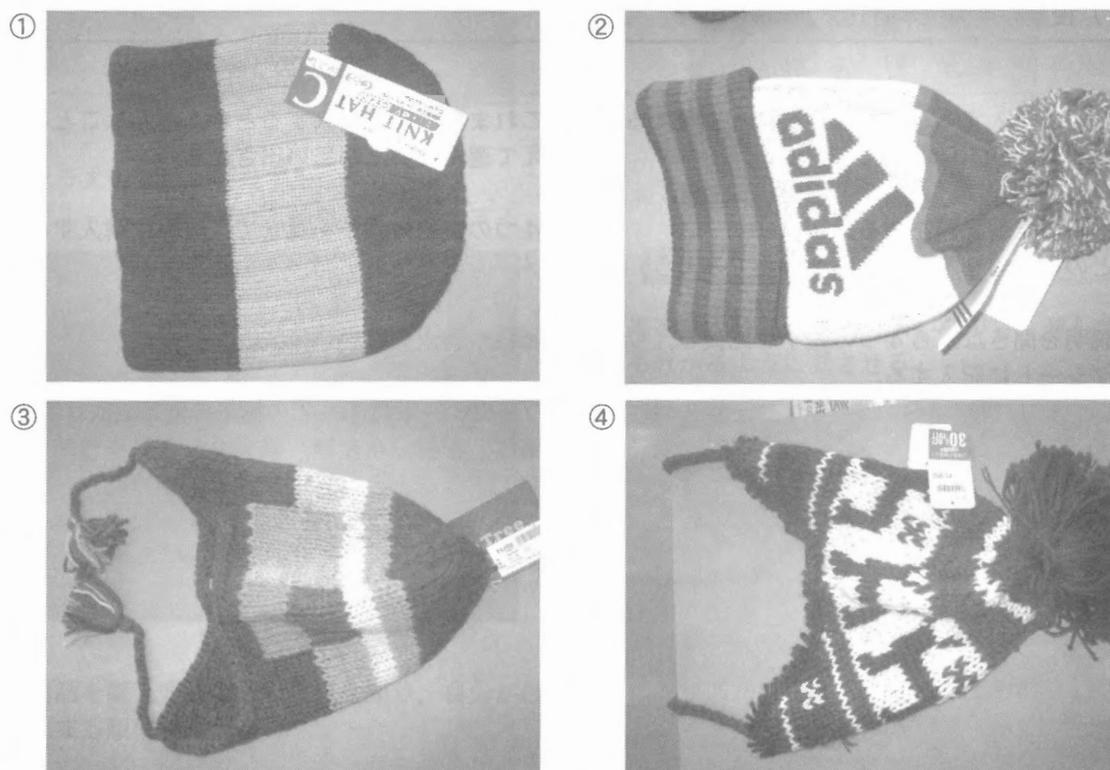


表1 商品の情報

商品の番号	①	②	③	④
素材	アクリル100%	アクリル100%	毛100%	アクリル100%
取り扱い 手入れ等	多少色移りあり 洗濯に注意	乾燥機の使用不可 手洗い	フェア・トレード 商品	手洗い
価格	1 0 5 円	2, 8 3 5 円	2, 5 0 0 円	1, 9 8 0 円
生産地	中国	台湾	ネパール	中国
購入先	1 0 0 円ショップ	スポーツ専門店	通信販売	大型量販店

学習における生徒の学び合いについては、これまで実習や製作を中心に、学習場面や児童生徒の発達段階に応じて、ペア学習、グループ学習、一斉学習など異なった学習形態を取り入れてきた。作業の分担や協力、話し合い、助言、相互評価など、互いの学び合いの中から思考力・判断力・表現力の

育てる学習を行ってきた。

本時は、生徒同士が日頃慣れ親しんでいる学級の生活グループを使って、衣服の購入について自分の考えを伝え、商品を選択する視点やその理由について話し合い活動を行った。発表や話し合いの手がかりになるようにワークシートを用いて、商品の情報を整理させたり、自分の考えをまとめさせたりした。また、グループの話し合いの結果を表にまとめ、全体の発表のときに掲示させて、クラス全体に伝えられるようにした。

4. 授業の概要・様子

(1) 授業の目標

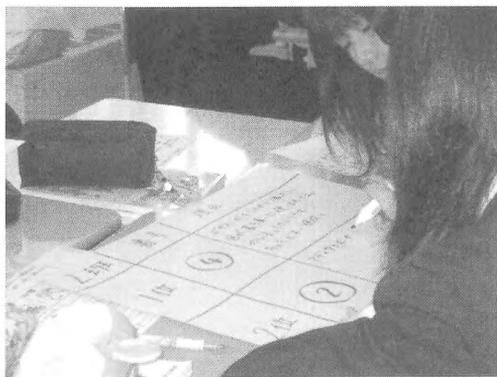
- ・情報を活用して商品を選択することに意欲的に取り組むことができる（関心・意欲・態度）
- ・商品の購入のための情報を収集・整理することができる（技能）
- ・自分たちの消費行動が他の地域の人々の生活や自然環境に与える影響を考えることができる（思考・判断）

(2) 授業の展開（本時16/20時間）

学 習 活 動	教 師 の 支 援
<p>○衣服の購入するとき、どんなことを考えるか（色、デザイン、価格、素材など）</p> <p>○本時の学習課題を知る。 どの帽子のを購入したいか考えてみよう</p> <p>・説明を聞きながら4つの帽子を比較し、ワークシートに記入する。</p>  <p>・4つの帽子を実際に手にとって比べてみて自分が購入したい帽子を考える。</p> 	<p>・これまで衣服を購入するとき、どんなことを考えて選んでいたか思い出させる。</p> <p>・4つの実物の帽子を見せて、実際に購入するイメージをもたせる。</p> <p>・価格や購入先について説明する。</p> <p>・ワークシートに①～④の帽子の情報（取り扱い、価格、素材、生産地、購入先など）を整理して記入できるようにしておく。</p> <p>・グループごとに実際の①～④の帽子をさわったり、表示を見て比較できるようにする。</p> <p>・品質表示や商品タグに注目させて、書かれている情報が読み取れるようにする。</p> <p>・4つの帽子の中から2つ選ばせ、その帽子を選んだ理由をワークシートに書いておく。</p>

○グループで話し合いをする。

- ・各自が自分の選んだ帽子とその理由を発表する。
- ・全員の発表の結果から、グループとしてどの帽子を選ぶか話し合う。
- ・話し合いの結果を画用紙にまとめる。

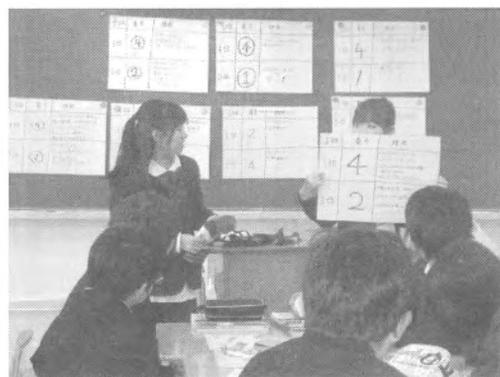


- ・全員が発表できるように、話し合いの方法を説明する。
- ・選んだ理由が分かるように発言させる。
- ・他の意見も受け止めて、グループの結論が出せるように助言する。



○クラス全体のに発表する。

- ・グループで話し合った結果を前で発表する



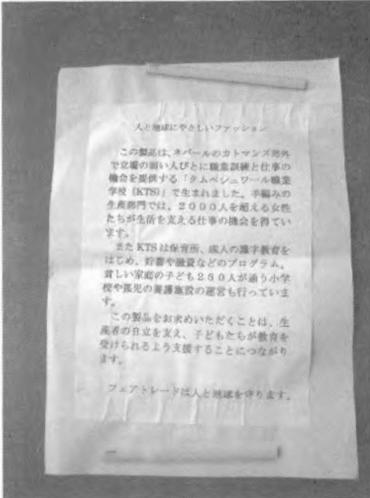
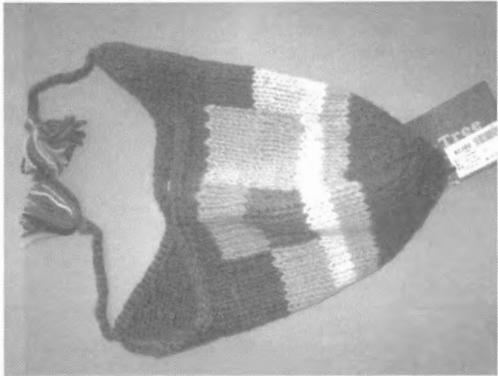
- ・結果をまとめた画用紙を示しながら、選んだ理由も分かるように話させる。
- ・発表し終わったグループの画用紙を黒板に貼り、結果を比較できるようにする。

○商品を購入するときの視点を知り、自分が優先する順位を考える。

- ・グループの発表から、商品の購入の視点をまとめる。
- ・「環境への影響」について説明する。



(本時17/20時間)

学 習 活 動	教 師 の 支 援
<p>○商品の「価格」について考える。</p> <p>○フェア・トレード商品について知る。 タグを拡大したもの</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・何によって価格の差があるのか考えさせる。 ・フェア・トレード商品 (③) のタグや生産地に注目させる。 
<ul style="list-style-type: none"> ・他のフェア・トレード商品を見る。 (コーヒー、チョコレートなど) 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェア・トレード商品について説明する。 
<p>○商品を購入する際にどのようなことを考えたらよいだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習したことをもとに自分の考えをワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フェア・トレード商品の価格が他の同じ商品より高くなっていることに注目させる。 ・商品が生産され、販売される過程や商品の価格と素材、生産地、労働賃金などのかかわりを考えさせる。 ・ワークシートを配布し、自分の考えと学習の感想を書かせる。 ・授業後のアンケートを行う。

5. 授業の評価と今後の課題

グループで話し合った結果、商品を選んだ件数と選んだ理由を一覧にした。(表2)

表2 商品を選んだ件数と選んだ理由

数 (%)

商品の番号	①	②	③	④	合計
選んだ件数	11 (16.7)	23 (34.8)	5 (7.6)	27 (40.9)	66 (100)
選んだ理由 (複数回答)					
デザイン	5 (22.7)	17 (37.8)	5 (55.6)	27 (49.1)	54 (40.6)
素材	3 (13.6)	11 (24.4)	3 (33.3)	12 (21.8)	29 (21.8)
価格	9 (40.9)	4 (8.9)	0 (0)	14 (25.5)	27 (20.3)
ブランド	0 (0)	11 (24.4)	0 (0)	0 (0)	11 (8.3)
手入れ・ 取り扱い	4 (18.2)	0 (0)	0 (0)	2 (3.6)	6 (4.5)
その他	使いやすそう 1 (4.6)	使いやすそう 生産地 2 (4.4)	購入方法 1 (11.1)	0 (0)	6 (4.5)
合計回答数	22 (100)	45 (100)	9 (100)	55 (100)	133 (100)

最も多くのグループが選んだ商品は④と②であった。その理由として、一番多かった理由が「デザイン」、次が「素材」と「価格」であった。

「デザイン」は色や形から「他の衣服との組み合わせやすさ」を挙げるグループが多かった。③や④は「耳まで隠れるので暖かそう」、「ボンボンがかわいい」という形からの理由もあった。また、柄が「冬らしい」、「身長が高く見える」など「色や柄の効果」を学習したことが活かされているものもあった。選んだ理由に特に「デザイン」が多かったことについては、社会的な衣服のはたらきで学習した「個性を表すこと」が、生徒の興味関心が高い要素であること示していると思われる。

「価格」を理由に挙げた中には、「安いから」という理由以外に、「手頃だから」というものや「高いので長持ちしそう」、「手頃な価格なので信用できる」という価格から受ける印象によって選んでいるものもあった。

「素材」についての理由は、「触り心地のよさ」、「丈夫さ」、「暖かそう」などが多かった。これは実際にさわってみたり、かぶってみたりして、手ざわりの良さ、暖かさ、かぶり心地を体験したことが大きいと思われる。また、「ウールで暖かい」と繊維の性質から選んでいたグループもあった。

さらに②の商品はブランド品であること理由に選んだグループが多かった。また、「洗濯できる」「手洗いでできる」など、手入れ・取り扱いなど学んだ知識を活用して選んでいるグループも見られた。

次に、授業後、話し合い活動についてクラスごとにアンケートを取り、結果を表3にまとめた。

表3 「グループでの話し合い活動によって、商品購入の理由について深く考えることができたか」 人 (%)

クラス	A	B	C	D	合計
Y E S	31 (94.0)	32 (94.1)	34 (100)	33 (97.1)	130 (96.3)
N O	2 (6.0)	2 (5.9)	0 (0)	1 (2.9)	5 (3.7)
合計	33 (100)	34 (100)	34 (100)	34 (100)	135 (100)

「グループでの話し合い活動によって、商品購入の理由について深く考えることができたか」という問いに、どのクラスも9割以上の生徒が「YES」と答えている。また、表2の結果からもグループで話し合いの結果、多様な考え方ができたことが伺われる。これらの結果から、話し合い活動は「商品購入の理由について深く考えること」に有効であったと言える。「NO」と答えた生徒は、「皆が似たような意見だったから」「男女で意見が違うから、どちらでも使えるデザインのものでないと意見のまとまりようがない」という答えで、教材として使う商品の選定については更に検討する必要があると思われる。

「フェア・トレード商品」については、全体の9割(91.1%)の生徒が「初めて知った」と答えた。この授業を通してほとんど(98.5%)の生徒が「フェア・トレードについて理解できた」と答えている。授業後の生徒の感想から「今回の授業で商品に対する見方がかなり変わった」、「これからはいろいろな視点から商品を買いたいと思った」、「今まではフェア・トレードのことは知らずにあまり意識せず自分の好みや値段だけで決めていたので、これからはそういうところにも目を向けて商品を選択したいと思った」、「必ずしも安い商品が良いわけではなく、高いものにも様々な理由があることがわかった」などの意見が多く見られた。一方で、「フェア・トレード自体は良いシステムだと思うが、やはり安い商品がよい」という意見もあった。いずれの意見も自分が実際の買い物をするときのことを想定して考えており、この題材は「商品の選択と購入」を考える学習に有効であったと言える。

〈フェア・トレードについて学習した生徒の感想より〉

私は、学校に通うことのできない子ども達のために・・・といった言葉を聞くと「本当にちゃんとその子どもにお金が届くのかな」と疑っていました。でも、今日先生にしくみを詳しく説明してもらって、「大丈夫なんだな」と思いました。私たちがどんな買い物をするかということが、世界に影響を与えているということを知りました。しかしそれは、私たちにできることがあるということです。わたしたちが、フェア・トレードについて知識をつけ、買い物の時の視点を変えれば、それは大きな流れになって子どもたちを助けることもできると思います。

授業後のアンケート用紙

商品購入について考えてみよう 2年()組()番 氏名()

★ 前北問題 フェア・トレードについて学んだ上で、洋服等の商品を購入する際の優先順位について、もう一度、自分なりの考えを正直に書いてみよう。

学校に行けな子供がどう思っているか、いろいろ知ることができた。外国の製品がなぜ安いのか、どうして高くなるのか、知った。初めて知った。今日 フェア・トレードのマークを見ながら、自分も商品を買いたい。母にも伝えて買物の時に 迷わせないようにする。

★ 次の質問に答えなさい。(Yes/Noはどちらかに○を付けて下さい)

①「フェア・トレード」という言葉を知っていましたか。(Yes/No) Yes No ()

②「フェア・トレード」について理解できましたか。(Yes/No) Yes No ()

③ 授業の話し合い学習によって、商品購入の理由について深く考えることができましたか。(Yes/No) Yes No ()

④ 授業の話し合い学習には、どんな良い所があると思いますか? ()

⑤ Noと答えた方、それはなぜですか。()

⑥ フェア・トレードについて勉強した感想を書いて下さい。()

今後の課題として、「商品の選択と購入」は、個人の価値観や経済状況にもかかわる点が多く、取り上げる商品の種類や視点について更に検討していく必要がある。さらに「環境」の視点については、社会科や理科の内容とかかわりが深く、指導計画を立てる上で教科間の情報交換や連携が大切であることがわかった。幼小中一貫教育を進める中で小学校家庭科とのつながりだけでなく、他教科とのつながりや連携についても引き続き研究を進めていきたいと思う。

参考文献

- ・文部科学省『中学校学習指導要領解説 技術・家庭編』教育図書株式会社, 2008年
- ・山藤知美, 卒業論文, 2010年
- ・島根大学教育学部附属学校園『島根大学教育学部附属学校園研究紀要』2012年
- ・丸橋静香, 井上富美子『中学校家庭科におけるフェア・トレードを取り入れた消費生活に関する授業開発』, 日本家庭科教育学会中国地区会第32回研究発表会, 2012年

(いのうえ ふみこ 技術・家庭科 inouef@edu.shimane-u.ac.jp)